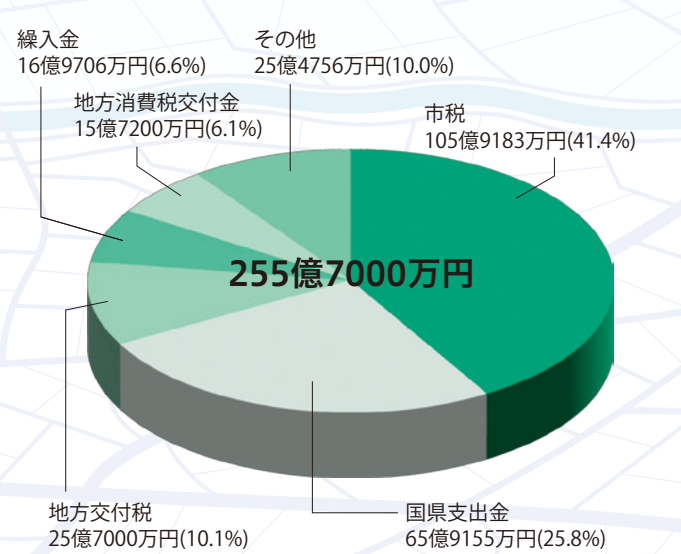


令和7年度 鶴ヶ島市の 予算

令和7年度の一般会計予算が決定しました。予算について紹介します。
一般会計の総額は255億7000万円。前年度と比較して12億1000万円の増額、
率にして5.0%の増となりました。
その結果、令和7年度の予算規模は、過去最大となりました。

図 財政課財政担当

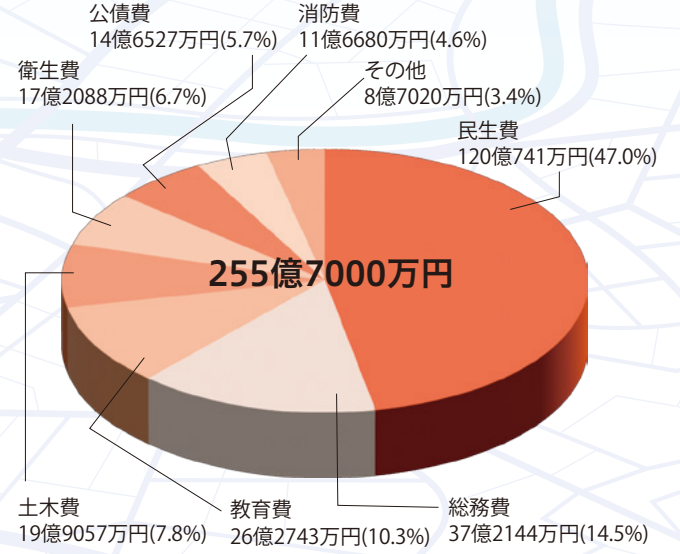
一般会計の歳入



歳入用語解説

市税	市民税、固定資産税などの税収
国県支出金	特定の事業のために国・県から支出されるお金
地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
繰入金	他会計や基金から繰り入れるお金
地方消費税交付金	県の地方消費税収の中から市に対して交付されるお金

一般会計の歳出



歳出用語解説

民生費	こども、高齢者、障害者などの福祉全般の事務・事業に使うお金
総務費	住民窓口、課税徴収、ICTなど市の総括的な事務に使うお金
教育費	学校運営の費用、生涯学習、スポーツなど教育全般の事務・事業に使うお金
土木費	道路、公園整備などに使うお金
衛生費	保健衛生、公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
公債費	市債を返済するために使うお金
消防費	消防や災害対策に使うお金

全体の予算規模

会計名		令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較増減	
				増減額	増減率
一般会計		255億7000万円	243億6000万円	12億1000万円	5.0%
特別会計	国民健康保険	65億4093万円	66億4681万円	△1億 587万円	△ 1.6%
	後期高齢者医療	12億8427万円	12億6601万円	1826万円	1.4%
	介護保険	50億8664万円	48億1452万円	2億7212万円	5.7%
	一本松土地区画整理事業	1億8789万円	1億1779万円	7010万円	59.5%
	若葉駅西口土地区画整理事業	2億9410万円	1億9178万円	1億 233万円	53.4%
	合 計	133億9383万円	130億3690万円	3億5693万円	2.7%
全会計合計		389億6383万円	373億9690万円	15億6693万円	4.2%

※ 各予算額は表示単位未満で四捨五入しているため、各項目積み上げと合計が一致しない場合があります

しあわせ共感
安心のまち
つるがしま
の実現に向けて

市民の皆さんにおかれましては、日頃から市政にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

令和7年度から第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画がスタートします。

時代は今、変化の中にあり、人口減少や少子高齢化に加え、デジタル化の進展や脱炭素社会への移行、災害への備えのほか、人びとの価値観などに変化が生じています。後期基本計画では、そうした変化に柔軟かつ的確に対応するとともに、市民の皆さんや関係団体の方々、企業、大学などと連携し、地域や世代を超えた様々な交流やつながりを大切に進めていきたいと考えています。

3つの重点戦略「こどもにやさしいまちづくり」、「いつまでも健康でいられるまちづくり」、「多様な働き方が実現できるまちづくり」を軸に、これまでの取組をさらに発展させ、若い世代や子育て世代をはじめ、鶴ヶ島に住む誰もが将来にわたって安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。



総合計画の
詳細はこちら

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

重点戦略 02 いつまでも健康でいられるまちづくり

健康長寿推進事業 (1817万円)

ラジオ体操およびウォーキングの普及拡大、大学や企業などと連携した食育を推進するとともに、フレイル対策を実施し、健康寿命の延伸を図ります。また、高齢者の健康づくりにデジタルを活用することにより、高齢者のデジタルデバインド(情報格差)の解消と社会的なつながりや世代間交流を創出します。

(新)大橋市民センターエレベーター更新事業 (184万円)

大橋市民センターのエレベーターの経年劣化に対応するため、更新工事に向けた設計業務を行います。

【鶴ヶ島駅周辺まちづくり】地域交流施設整備事業 (5028万円)

(仮称)地域交流施設の整備に向けて、建設予定地に現存する鶴ヶ島文化会館の解体設計および地域交流施設の基本設計を行います。



重点戦略 03 多様な働き方が実現できるまちづくり

(新)転入定住促進事業 (3215万円)

若い世代の家族を対象として、多世代での同居や近居を支援することにより、転入・定住の促進と安心な暮らしの実現を図り、魅力ある地域社会を実現します。

◎多世代同居・近居住宅取得補助金…若い世代の家族を対象として、親元での同居や近居を支援

◎空家再生・住環境向上補助金…隣接する土地と空き家を取得して建物の解体などを行う土地所有者を支援

(新)土地利用転換検討推進事業 (586万円)

第6次総合計画基本構想の土地利用構想において土地利用転換検討地域に位置付けられたエリア(東部地区)について、既存住宅地や生活基盤の維持・再生を図るなど、現状を踏まえた土地利用を検討・推進します。令和7年度は、土地利用の現状把握と、現状を踏まえた都市計画手法を検討・推進します。

企業立地雇用等促進奨励事業 (1450万円)

市内で事業所の新設などを行う企業やその従業員に対して、市内在住者の雇用、従業員の持家取得などに係る奨励金を交付することで、企業の市内進出の促進と、市民の雇用機会の拡大および定住の促進を図ります。

NEW
最大補助額100万円



その他の主要事業

安心・安全な地域づくり

地域防犯推進事業 (337万円)

地域における防犯対策の一環として、若葉駅西口周辺および公園に防犯カメラを設置します。



災害への備え

災害対策事業 (3000万円)

大規模災害に備えるため、災害用備蓄物資を整備するとともに、全国瞬時警報システム(Jアラート)の受信機および県衛星系防災行政無線の再整備を行います。

避難所環境改善対策事業 (2084万円)

指定避難所に位置付けられている小・中学校の体育館への避難経路の確保など、避難所環境の改善および充実を図ります。令和7年度は、小・中学校7校の屋外からアリーナ床面までの段差解消工事を行います。

まちの魅力の発信

(新)シティプロモーション推進事業 (785万円)

市の認知度やイメージを高めるため、さまざまな機会を捉え、専門的な知見を得ながら効果的に市内外へ向けて魅力を発信していきます。

ウェブ情報発信運営事業 (320万円)

必要な情報をホームページに分かりやすく掲載するとともに、防災・防犯など緊急情報を速やかに発信することで、便利で安心・安全なまちづくりを推進します。

令和7年度は、利便性の向上を図るため、ホームページ・公式アプリ「つるポッケ」・公式LINEを活用し、質問に自動で返答する機能(チャットボット)を導入します。



令和7年度 予算と事業の概要

図 財政課財政担当



詳細はこちら



重点戦略

01 こどもにやさしいまちづくり

安心してこどもを産み育てられる環境づくりを推進するため、すべてのこどもや子育て家庭に寄り添い、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図ります。また、新しい時代を生きるこどもたちの豊かな学びを応援するため、教育環境の質の向上を図ります。

02 いつまでも健康でいられるまちづくり

地域とのつながりを活かした健康づくりを進めるとともに、外出したくなるような環境の整備や社会参加、交流機会の創出を図ります。

03 多様な働き方が実現できるまちづくり

これまで進めてきたインフラ整備を活かし、企業立地のさらなる推進や住環境の整備を進め、雇用機会の創出や若い世代などの定住につながる取組を進めます。

(新): 令和7年度新規事業

重点戦略

01

こどもにやさしいまちづくり

(新)認定こども園整備支援事業 (2億6990万円)

認定こども園に移行する市内幼稚園2園(若葉台幼稚園、鶴ヶ島めぐみ幼稚園)に対して、施設の大規模改修への支援を行い、市の待機児童対策および就学前教育・保育環境の充実を図ります。

感染症予防対策事業 (3億862万円)

予防接種法に基づく定期接種や任意接種に係る費用を助成し、感染症の発症および拡大を防止することで、市民の健康維持を図ります。

乳幼児健康診査事業 (935万円)

出生から就学前までの乳幼児に対して切れ目なく健康診査などを行い、適切な指導と相談支援を行うことで、乳幼児とその保護者の健康の保持・増進を図ります。



NEW

こどものインフルエンザ
予防接種費用全額助成

NEW

1か月児
健康診査費用を助成